

毎年10月中旬に開催される新居浜太鼓祭りは、四国三大祭りの一つに数えられ、新居浜が全国に誇る伝統行事です。金糸で刺繍された豪華絢爛な布団締めや幕を付けた太鼓台は、高さ約5.5m、長さ約12m、幅約3.4m、重さ約3tで、約150人の「かき夫」と呼ばれる男たちが支え担ぎます。祭り期間中は全国各地から観客が集まり、市内は祭り一色となって太鼓の音が鳴り響きます。



**【歴史】**

はっきりした資料は確認されていませんが、地域の伝承によると、祭礼の時、神輿に供奉する山車（一種で信仰を対象とした神輿渡御の際、その列に参加して巖かに供奉し、豊年の秋を感謝して氏神に奉納していたもので、その起源は鎌倉時代、あるいは平安時代まで遡るといわれています。

**【変遷】**

明治初期の太鼓台は高さ約3mで現在の子ども太鼓台くらいの大さでした。その後、別子銅山の産業が発展するにつれて、太鼓台を所有する地域が太鼓台に建設費用をかけるようになり、その豪華さ、巨大さを競うようになりました。現在とほぼ同じ大きさになったのは、明治中期から昭和初期にかけてです。

**【太鼓のあれこれ】**

- 太鼓の打ち方  
「ドン・デン・ドン、(空白)」の四拍子が基本です。
- かき夫の掛け声  
「チョーサージャー」、「ソーリヤ、ソーリヤ」「ソーリヤ、エイヤーエイヤー、ヨイヤサーノサーサ」などが基本的な掛け声です。「チョーサ」とは「太鼓」という意味です。

**【船御幸】**

港から太鼓台を台船に乗せ、海上をパレードします。これは大漁などを祈願したもので、川西地区において隔年で行われます。

# 新居浜太鼓祭り

太鼓台各部のいわれ



## 太鼓台ミュージアム

あかがねミュージアムの1階には、市内各地の太鼓台を順番に展示する太鼓台ミュージアムがあり、ほぼ1年中実物の太鼓台を見ることが出来ます。法被やのぼりなども展示しており、360°シアターでは、映像と迫力のある音で太鼓祭りの臨場感を体験出来ます。



### 太鼓台ミュージアム ミミヨリ

太鼓台の入れ替えは、2か月から3か月ごと。入れ替えごとに展示の太鼓台を詳細に説明するパンフレットが作られています。現在の太鼓台の数は53台。パンフレットをコレクションしてみるのもいいかも？



## おみやげ

瀬戸内の香りを伝える水産品や伊予柑、柚子など愛媛の風味が味わえるお菓子類、伝統の醸造法で造られる地酒など、数多くの物産品があります。また、新居浜太鼓祭りをモチーフにした工芸品やお菓子類もおみやげもの・贈答用に好評です。



えび天



あかがねワッフル



すていっく



豪華絢爛

布団締め額



ポリポリー



華姫桜



レモンケーキ

新居浜市物産協会 ☎ 0897-37-3012

## 郷土料理



ふぐざく (10月から3月)



新居浜発祥の料理でふぐの切り身、皮、ネギ、カワハギの肝に薬味を加え、ポン酢で味付けした独特なもので、酒の肴にもよく合います。さっぱりとした味をお楽しみください。

いもだき (9月上旬から10月上旬)  
秋の風物詩として親しまれている新居浜の名物。里芋、かした、こんにゃく、もやしなどが入った鍋。

新居浜料理飲食業協同組合 ☎ 0897-33-3920

新居浜観光についてのお問い合わせ

(一社) 新居浜市観光協会

〒792-0812 新居浜市坂井町二丁目3番17号

☎ 0897-32-4028 FAX 0897-32-7808

http://www.niihama.info/

新居浜市観光協会

